株主の皆様へ

第154期 中間報告書

2021年4月1日から9月30日まで

エンシュウ株式会社

証券コード 6218

CORPORATE PHILOSOPHY
経営理念

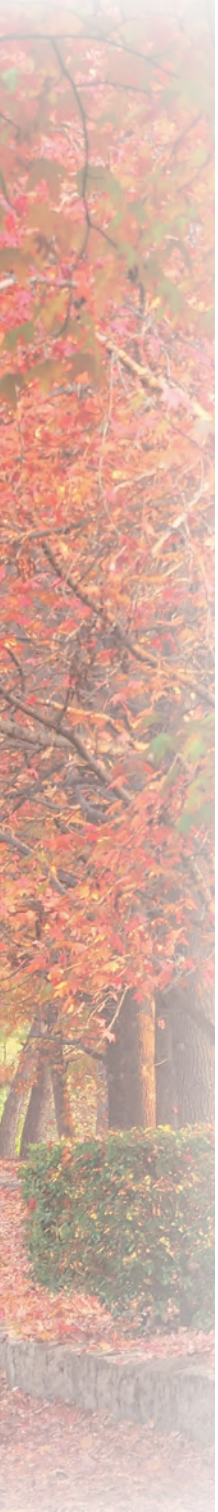
売ってよろこび、
買ってよろこび、
作ってよろこび、
一生懸命につとめ
共生共栄を旨とする

本社及び高塚工場

浜北工場

CONTENTS
目 次

株主の皆様へ 2
事業の概況 3
トピックス 5
中間連結財務諸表 7
株式の状況 9
会社の概況 10



TOP MESSAGE

株主の皆様へ

代表取締役社長　社長執行役員

山下晴央

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当中間連結期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として継続し、更には部材不足が懸念されるなど厳しい状況で推移しましたが、その一方で日本工作機械工業会の受注額は好不況の目安である1,000億円を超える月が連続し、全地域的に回復傾向が継続しております。

このような情勢の中、当社グループは従業員の安全を確保しつつ仕事量の確保に向けた拡販活動に取り組んだ結果、工作機械関連事業の当中間連結受注高は7,454百万円（前年同期比2.8倍）と大幅な増加となりました。当中間連結期間の売上高は、工作機械関連事業が減少したものの、部品加工関連事業が増加したことにより10,928百万円（前年同期比18.8％増）となりました。損益につきましては、営業利益は323百万円（前年同期は営業損失105百万円）となり、経常利益は234百万円（前年同期は経常損失92百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は85百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失222百万円）となりました。

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関しプライム市場を選択し、企業価値向上に向け新中期経営計画、経営改革の実行に取り組んでおります。

また、当中間連結期間においては、初めて電動車関連部品の加工を受注し、IoT化した設備を活用し高品質で効率的な生産ラインの構築を進めております。工作機械関連事業においても、自動車エンジン加工関連に代わる新市場の開拓に向けた活動に注力し、様々な引合を獲得しており、仕事量の確保に努めております。

全社一丸となって中期経営計画、経営改革を達成し、更なる発展に繋げていけるよう取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

2021年４月１日から2021年９月30日に至る当社グループ第154期中間連結期間の事業の概況をご報告申し上げます。

工作機械関連事業

当中間連結期間における日本工作機械工業会の受注動向は、アジア、欧米を中心に前年同期比増加となり、日本工作機械工業会が公表している2021年の受注見通しも上方修正を行うなど、回復傾向が見られます。

当社におきましては、売上高は5,110百万円（前年同期比11.9％減）、営業損失は85百万円（前年同期は営業利益257百万円）となりましたが、当中間期の受注総額は7,454百万円（前年同期比176.9％増）と回復が見られております。ガソリン車から電気自動車（ＥＶ）へのシフトが今後更に加速していくものと見込まれ、当社としても自動車エンジン加工関連に代わる新たな市場開拓を経営課題と捉え、取り組みを推進しております。

このような状況の中、新たに開発した立形マシニングセンタGE30Vの自動搬送装置「E-Loader」内蔵仕様と、WE30Ve「E-Loader」の多種変量加工対応装置を展示会にて出展し、お客様へより具体的な自動化提案をおこない、大きな反響をいただいております。

今後におきましても、市場の開拓や顧客ニーズを汲み込んだ営業提案を今まで以上に展開し、受注の獲得に努めてまいります。

▲MECT2021

▲GE30V（E-Loader仕様）

▲WE30Ve（E-Loader仕様）

部品加工関連事業

部品加工関連事業におきましては、前年度下期より国内外にて客先の生産増加に伴い稼働が上向きはじめ、当中間連結期間においても引き続き高い水準の生産を維持いたしました。その結果、売上高は、5,782百万円（前年同期比72.1％増）、営業利益は売上高の増加の影響等により383百万円（前年同期は営業損失388百万円）と、コロナ以前である2019年度上期を上回る成績となりました。

そのような状況の中、電動車関連部品の加工を受注しはじめ、素材と加工の一貫受注の提案等、引き続き新規部品の受注獲得に向け活動を進めていくとともに、生産性向上活動にも注力し、利益確保に努めてまいります。

▲ガントリー搬送式シリンダブロック自動加工ライン

E-Loader搭載機の第２弾をMECT2021に初出展

工作機械のモノづくりにおいて、自動化、省人化のニーズが高まっている中、当社は、マシニングセンタ（MC）に内蔵できる自動搬送装置E-Loaderを2019年６月に開発し、機内搬送装置付マシニングセンタ「WE30Ve+E-Loader」を発表しております。今回、新たな市場参入も視野に入れ、大型箱物ワーク、多品種少量生産に対応するため、第2弾となる「GE30V+E-Loader」をMECT2021へ初出展いたしました。展示会では、上記マシニングセンタ２台の前後に搬入出ストッカーを設置し、より幅広いお客様に向けた自動化と柔軟な生産方式を提案いたしました。

▲GE30V＋E-Loader

▲MECT2021

部品加工事業　電動車関連部品を初受注

自動車業界が大きな変革を迎えている中、電動車関連部品であるインバーターケースを受注いたしました。今後、今までの内燃機関とは異なる領域での受注拡大を積極的に行ってまいります。また当社にて開発したIoTを導入し、リアルタイム監視・トレーサビリティなどを行い、高品質・高効率なモノづくりに取り組んでまいります。

製造部門においては、新規開発した自社製の機内搬送装置付マシニングセンタ「WE30Ve＋E−Loader」を採用したデフケースライン、新規顧客向けのシリンダブロックラインを順調に立ち上げ、生産を開始いたしました。

ホームページリニューアル

近年はインターネットやSNSによる情報発信の必要性が高まってきていることから、当社ではホームページのリニューアルをいたしました。スマートフォン対応のレイアウトに変更し、製品動画の量を増やし、バーチャルショールームも立ち上げいたしました。またオンライン工場見学会やWEB立ち合いを実施いたしました。今後も継続して最新の技術や新しい情報を発信してまいります。

▲バーチャルショールーム

▲スマートフォン対応

SDGs 社会貢献活動 「しずおか未来の森サポーター」協定締結

▲森づくり協定書

2021年10月11日に「静岡県×指定管理者×エンシュウ」の三者で、「しずおか未来の森サポーター」の協定を締結いたしました。

これは静岡県と民間企業・団体が連携して森林整備に取り組む制度で、当社は静岡県立森林公園にて植栽や下草刈り、間伐などの森林整備活動を行ってまいります。

また、当社が活動する森林一帯を、「我々の新たな100年とともに繁栄していく」という願いを込めて「エンシュウ百年の森」と名付けました。豊かな森林を次世代に引き継いでまいりたいと考えております。

▲しずおか未来の森サポーター締結式

INTERIM CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS 中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）（2021年9月30日現在）

（単位 百万円　百万円未満は切捨て）

項目	金額
●資産の部●	
流動資産	15,881
現金及び預金	4,000
受取手形及び売掛金	2,722
電子記録債権	2,316
商品及び製品	2,259
仕掛品	2,828
原材料及び貯蔵品	1,409
その他	351
貸倒引当金	△ 5
固定資産	14,100
有形固定資産	13,720
建物及び構築物	2,594
機械装置及び運搬具	2,954
土地	7,392
その他	779
無形固定資産	122
その他	122
投資その他の資産	257
その他	268
貸倒引当金	△ 10
繰延資産	31
資産合計	30,013

項目	金額
●負債の部●	
流動負債	8,084
支払手形及び買掛金	2,259
電子記録債務	1,125
1年以内償還社債	240
短期借入金	1,790
未払法人税等	54
賞与引当金	453
資産除去債務	3
その他	2,158
固定負債	11,586
社債	960
長期借入金	5,440
役員退職慰労引当金	15
退職給付に係る負債	3,179
資産除去債務	40
その他	1,951
負債合計	19,671
●純資産の部●	
株主資本	7,124
資本金	4,640
資本剰余金	0
利益剰余金	2,554
自己株式	△ 70
その他の包括利益累計額	3,217
その他有価証券評価差額金	2
土地再評価差額金	3,666
為替換算調整勘定	342
退職給付に係る調整累計額	△ 792
純資産合計	10,342
負債純資産合計	30,013

中間連結損益計算書（要旨）

自 2021年4月 1日
至 2021年9月30日

（単位 百万円　百万円未満は切捨て）

項目	金額
売上高	10,928
売上原価	9,256
売上総利益	1,671
販売費及び一般管理費	1,348
営業利益	323
営業外収益	31
営業外費用	120
経常利益	234
特別利益	0
特別損失	33
税金等調整前中間純利益	201
法人税、住民税及び事業税	65
法人税等調整額	50
親会社株主に帰属する中間純利益	85

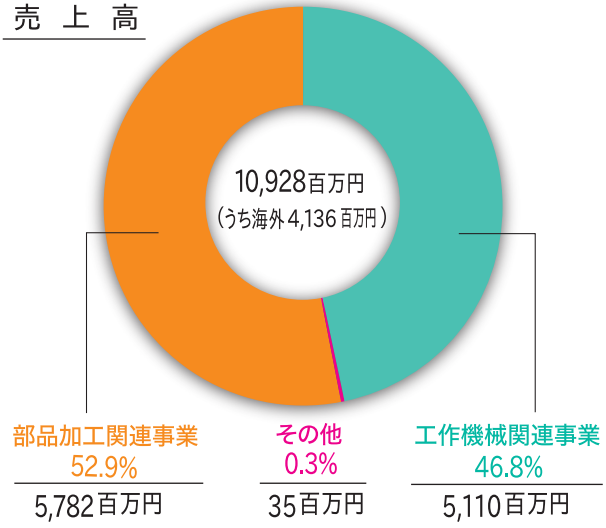
中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

自 2021年4月 1日
至 2021年9月30日

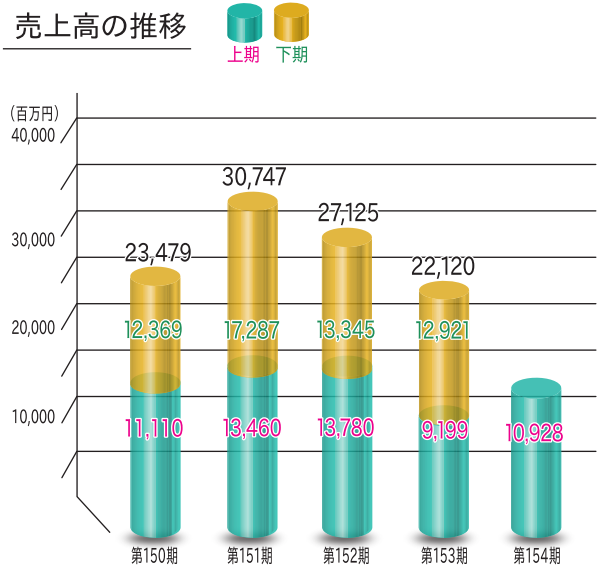
（単位 百万円　百万円未満は切捨て）

項目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,489
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 254
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,340
現金及び現金同等物に係る換算差額	118
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 988
現金及び現金同等物の期首残高	4,940
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,951

売上高



売上高の推移



STOCK REPORT
株式の状況

（2021年９月30日現在）

1. 株式の総数・資本金

株主総数	4,784 名
発行可能株式総数	15,000,000 株
１単元の株式数	100 株
発行済株式の総数	6,353,454 株

（自己株式 47,903 株を含む）

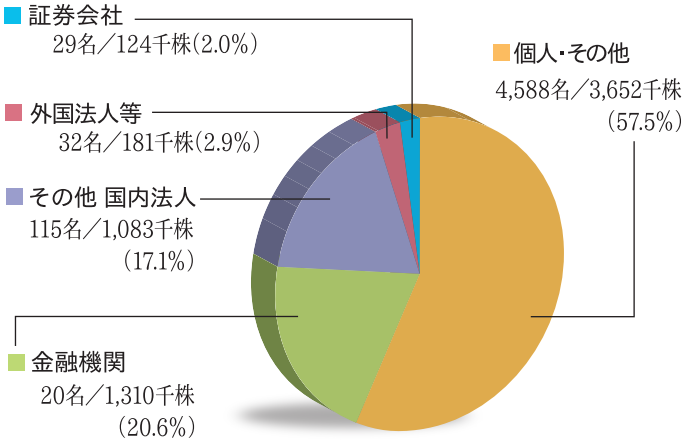
2. 大株主

エンシュウ取引先持株会	775,990株（12.30%）
ヤマハ発動機株式会社	645,739株（10.24%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	525,200株（8.32%）
浜松ホトニクス株式会社	200,000株（3.17%）
前尾和男	186,700株（2.96%）
株式会社みずほ銀行	157,267株（2.49%）
みずほ信託銀行株式会社	145,500株（2.30%）
株式会社りそな銀行	141,425株（2.24%）
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	120,100株（1.90%）
エンシュウ従業員持株会	113,621株（1.80%）

（注）比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。（小数点第3位以下を切り捨て）

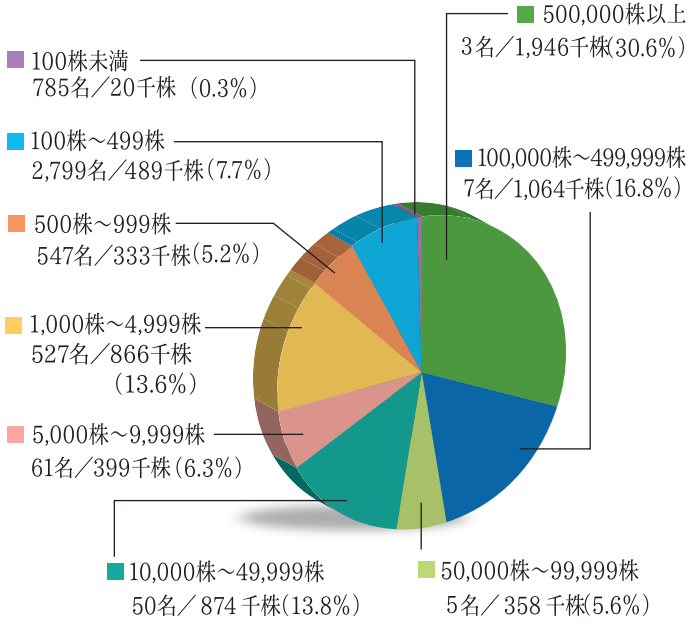
3. 株主の構成

所有者別株式分布状況　合計：4,784名／6,353千株



（注）株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

所有株数別分布状況　合計：4,784名／6,353千株



（注）株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

COMPANY PROFILE

会社の概況（2021年9月30日現在）

商号	エンシュウ株式会社(英文ENSHU Limited)
設立	1920年2月5日
資本金	46億4,085万円
従業員数	1,045名(連結)
生産品目	工作機械、輸送機器関連部品 レーザー加工機

事業所

本社及び工場　〒432-8522　静岡県浜松市南区高塚町4888　電話 053-447-2111(代)

浜北工場　〒434-0016　静岡県浜松市浜北区根堅788　電話 053-588-0211(代)

営業部・支店

第1営業部	〒434-0016	静岡県浜松市浜北区根堅788	電話 053-588-2670
第2営業部	〒432-8522	静岡県浜松市南区高塚町4888	電話 053-447-2445
東京支店	〒140-0011	東京都品川区東大井4-13-15（スターハイツ）	電話 03-5479-1671(代)
大阪支店	〒564-0063	大阪府吹田市江坂町1-23-43（ファサード江坂ビル）	電話 06-6338-2471(代)

サービスステーション　／東北・金沢・広島・九州

海外拠点

ENSHU (USA) CORPORATION	(アメリカ・シカゴ近郊)
ENSHU USA CORPORATION MEXICO R.O.W.I	(メキシコ・ケレタロ)
ENSHU GmbH	(ドイツ・フランクフルト近郊)
ENSHU (Thailand) Limited	(タイ・バンコク近郊)
BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd.	(タイ・バンコク近郊)
PT.ENSHU INDONESIA	(インドネシア・ジャカルタ近郊)
ENSHU (QINGDAO) LIMITED	(中国・青島)
ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD.	(中国・青島)
ENSHU(QINGDAO) Limited Suzhou branch office	(中国・蘇州)
ENSHU INDIA PVT Ltd.	(インド・グルガオン)
ENSHU VIETNAM Co.,Ltd.	(ベトナム・ハノイ近郊)

取締役体制

（2021年10月1日現在）

代表取締役社長	山下晴央
代表取締役会長	勝倉宏和
取締役	鈴木敦士
社外取締役	墨岡良一
取締役（常勤監査等委員）	中村泰之
社外取締役（監査等委員）	石塚尚
社外取締役（監査等委員）	森和彦

執行役員体制

（2021年10月1日現在）

社長執行役員（兼 技術・製造本部長）	山下晴央
会長執行役員（兼 管理本部長）	勝倉宏和
副社長執行役員（兼 営業・開発本部長）	鈴木敦士
上席執行役員（営業・開発本部 副本部長(開発・プロポーザル担当)）	鈴木利夫
上席執行役員（技術・製造本部 副本部長 兼 第1製造部長 兼 生産革新室長）	板垣成信
執行役員（技術・製造本部 生産管理部長）	内山浩一
執行役員（営業・開発本部 第2営業部長）	加藤猛
執行役員（技術・製造本部 技術部長）	田代繁甲

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当の基準日 （期末配当） （中間配当）	 3月31日 9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬 なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿に記録された議決権を有する株主となります。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目３番３号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
公告方法	電子公告　（https://www.enshu.co.jp/koukoku/） ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
株式の上場	東京証券取引所市場第一部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507　東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 （土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店 （住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 （みずほ証券では取次のみとなります）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買収以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。

単元未満株式（1～99株）を保有されている株主の皆様へ

単元未満株式は
市場における自由な売買ができません。

単元未満株式（1株から99株）を保有されている株主の皆様からの、単元未満株式の買取請求をお受けしております。手数料はかかりません。

当社株主名簿管理人・特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社　証券代行部に
お問合せください。
0120-288-324（フリーダイヤル）

【ご注意】
なお、証券会社等の一般口座で保有する単元未満株式については、お取引きの証券会社等を通じてお手続きをしていただくようになりますので、株式のお取引きの証券会社等にお問合せください。
お取引きの証券会社独自の手数料がかかる場合がございます。

ホームページのご案内　※2021年４月より リニューアルいたしました。
当社はインターネット上で最新の情報を皆様に提供しております。
ホームページアドレス　https://www.enshu.co.jp

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

エンシュウ株式会社